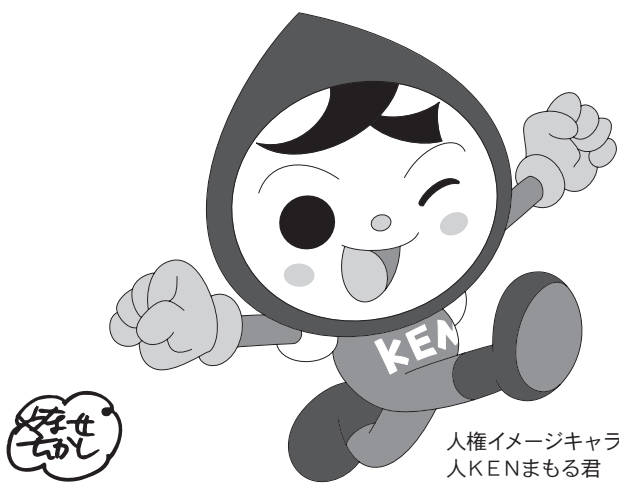


令和5年度 第42回全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会 中学生人権作文募集のしおり

応募締切 令和5年9月上旬

市町村により異なります

「誰か」のこと じゃない。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君



人KEN
あゆみちゃん

主催 横浜地方法務局 神奈川県人権擁護委員連合会

後援 神奈川県教育委員会

神奈川新聞社

NHK横浜放送局



ラジオ0本
FM92.4 AM1422

お問い合わせ先

横浜地方法務局

人権擁護課 横浜市中区北仲通5-57

☎ 045-641-7926

湘南支局 藤沢市辻堂神台2-2-3

☎ 0466-35-4620

川崎支局 川崎市川崎区宮前町12-11

☎ 044-244-4166

横須賀支局 横須賀市新港町1-8

☎ 046-825-6511

西湘二宮支局 中郡二宮町二宮1240-1

☎ 0463-70-1102

厚木支局 厚木市寿町3-5-1

☎ 046-224-3163

相模原支局 相模原市中央区富士見6-10-10

☎ 042-753-2110

※上記の横浜地方法務局人権擁護課及び支局では、いじめ、虐待、差別など、人権についての様々な相談に応じています。秘密は固く守られますのでお気軽にどうぞ。

みんなの人権110番

こどもの人権110番

(通話料無料)

女性の人権ホットライン



0570-003-110



0120-007-110



0570-070-810

ゼロゼロみんなのひやくとおぼん

ゼロゼロなのひやくとおぼん

ゼロナナゼロのハートライン

インターネット人権相談受付窓口

<https://www.jinken.go.jp/>

インターネット人権相談

検索

◆人権啓発コンテンツ

人権啓発コンテンツ

検索

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken96.html>

◆人権ライブラリー

人権ライブラリー

検索

<https://www.jinken-library.jp/>

募 集 要 領

- 〈目 的〉 次代を担う中学生の皆さんが、人権尊重の重要性、必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的としています。
- 〈内 容〉 日常の家庭生活や学校生活、ボランティア活動など地域社会との関わりの中で得た体験を通じ、基本的人権を守る重要性や必要性について考えたことなどを題材にしてください。
- ◎例えば、友だち同士での対話、家庭でのできごと、高齢者との関わり、いろいろな差別（同和問題、障害者や外国人に対するものなど）に接したこと、平和問題や環境問題について体感したこと、など。
- 〈題名と枚数〉 作品には、題名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を明記してください。題名は自由です。
- 応募枚数は、題名、学校名、学年及び氏名を除き、400字詰原稿用紙5枚以内としてください。手書き、パソコン等で作成したものいずれも可とします。外国語や点字・録音テープで作文を作成した場合には、それぞれ400字詰原稿用紙5枚以内の翻訳文、墨字又は反訳文を付してください。
- なお、いずれの場合も5枚を超えた作品は、審査の対象となりません。
- 〈締 切〉 令和5年 9月上旬
- 〈入 賞 発 表〉 令和5年11月27日（月）
- 〈 賞 〉
- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 最優秀賞 | 5 編 | （応募数によって増減します。） |
| 優 秀 賞 | 1 4 編 | （応募数によって増減します。） |
| 金 賞 | 1 4 編 | |
| 銀 賞 | 1 4 編 | |
- 審査員特別賞（優秀賞受賞作品の中から選定されます。）
- | | |
|------------|-----|
| 神奈川県教育長賞 | 1 編 |
| 神奈川新聞社賞 | 1 編 |
| NHK横浜放送局長賞 | 1 編 |
| t v k 賞 | 1 編 |
| ラジオ日本賞 | 1 編 |
- 以上の入賞者には表彰状及び副賞が授与されます。
- なお、最優秀賞受賞作品は、神奈川県大会の代表作品として中央大会（法務省・全国人権擁護委員連合会主催）に推薦します。
- 〈参 加 賞〉 参加者全員に記念品を贈呈します。
- 〈注 意 事 項〉
- 1 応募作品は未発表のものに限ります。
 - 2 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。
 - 3 応募作品は原則として返却しません。
 - 4 入賞作品については、横浜地方法務局のホームページ、報道機関、作品集、地方自治体等の広報誌等に公表することを予定していますので、不都合がある場合はあらかじめお申し出ください。公表にあたっては、作品の趣旨を損なわない範囲で一部修正することがあります。
 - 5 作品の公表にあたって、応募者が希望する場合は、「氏名」又は「学年・氏名」を匿名として公表するものとします。